



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Show Rotary Cares・『ロータリーの心を』
1997～98年度・国際ロータリーテーマ／グレンW・キンロス会長

『ロータリーの原点』に立ち『新鮮な眼でクラブライフを』
1997～98年度・東京新南ロータリークラブテーマ／武下 朗会長

◎本日の例会 □クラブセミナー 「拡大する国際奉仕分野とクラブの対応」

6月19日第564回例会

ロータリー情報委員長 田辺 賢三 君

◎先週報告

6月12日第563回例会

□幹事報告

「98～99年度ロータリー手帳」がロータリーの友事務所より届きましたので申し込みをされた会員の方のボックスへ配布いたしました。なお、品代の630円は、次年度（98～99年度）上期会費と共に請求させていただきます。

□慶事披露 ●ポールハリスフェロー表彰／梶内滋男君

□出席報告 ●会員71名／出席51名・欠席20名（出席規定免除者1名）5月平均出席率88.12%
ビクター（3名 敬称略・順不同）／福原 弘（東京武蔵野）、朝倉和行（東京城南）、酒井 重人（東京日本橋）

ロータリー研究会のご案内

6月の理事会において承認を頂き、標記研究会が発足いたしました。第1回研究会は7月3日（金）9：30～11：30に開催します。私ども若手会員に限らず、できるだけ多くの方に参加をしていただき、充実した研究会にできればと考えて、皆さんにご案内をさせていただきました。参加ご希望の方は、下記世話人にご連絡下さい。なお、会場、費用等については現在検討中ですので、決まり次第追ってご連絡申し上げます。
世話人：清原元輔、村山公士、小杉眞史、圓谷正和



6月12日/11件 39,000円
97～98年度累計 2,202,992円
多額の寄付を願っています。
(順不同、敬称略)

荒木昭文、山下忠治、宮本正祥、佐々木忠行、小杉修造、柴田尚毅、清原元輔、大日方真、加藤昌明、小笠雅亮、谷 義一
(紙面の都合上コメントを省略させていただきました。)

有明清掃工場見学記

環境保全委員長 佐々木 忠行

6月9日雨煙る中、台場地区の近未来建築群の一角に、焼却工場のイメージとは程遠いひと際モダンでクリーンな建築物として、有明清掃工場は存在していた。本来その目印であるべき煙突でさえ、シュールな高層建築を思わせる外観をしていた。予定通り2時から担当の佐藤氏から講義を受け、映画、質疑応答を含め約一時間を費やす熱の入った内容になった。

話の概要は次の様なものであった。

東京都には現在17箇所の焼却工場が稼動しており、これ23区から排出される可燃ゴミの総量と、処理能力が均衡したことにより、それ迄夢の島に投棄処理されていたゴミはゼロになった。

焼却時にダイオキシンが発生する温度帯は約250℃～750℃で、800℃以上では分解する。有明工場では連続的に900℃を保って処理しているため、その発生量は0.05Ng/M³以下で規定値（0.1Ng/M³）を十分クリアしている。問題なのは、焼却炉の処理能力の方が過大なため、炉を連続的に運営する場合、この時燃焼温度がダイオキシンの発生温度帯に入ってしまう事であり、要は処理能力とゴミの発生量とのバランスが大事なのである。

この他に小型焼却炉野焼き等規制のない処理方法が問題である…等の説明、質疑応答の後、非常に清潔でチリ

一つない工場内を見学し、4時に現地解散した。
参加者の皆さん雨の中本当に御苦勞様でした。
(参加者16名)



□本年度6回・新年度第1回クラブ協議会

テーマ「本年度各委員会活動報告と新年度各委員会活動計画」

とき／98年6月12日（金）例会後13：15～15：00
ところ／東京全日空ホテルB1八雲の間
出席者／38名

1. 総括（武下会長）

お陰様でこの一年間を無事におくらせていただきました。とくに、会計は健全会計で、会員増強の成果が大きかったと考えます。心より会員の皆様のご協力に感謝いたします。

2. 活動報告

(1)会計（梶内会計）

一般会計は予算2,750万円、うち会費収入2,574万円でしたが、新会員の加入が期初に集中したため会費収入は、

予算を20万円上回った。支出は軽費節減により予算内に納まる見込みである。この結果、基金会計からの繰入は120～130万円に留まる予定。

ニコニコボックス会計は、故田島会員ご遺族からの寄付、バザー収益金もあり、交換学生受入引当金50万円を積みましても、50万円程度次期に繰越せる見込みである。

基金会計は、新会員7名となり、次期繰越額は500万円程度となろう。

(2)職業奉仕委員会(伊部委員長)

- ①97.8.29 当クラブ会員に対し「日本における企業倫理の制度化に関する実態調査」についてアンケート実施。(回答率64%)
- ②97.9.26 卓話 水谷雅一日本経営倫理学会会長「日本の経営理論—企業の実践について—」
- ③97.10.3 「職業奉仕から見た企業倫理の現状」をテーマにクラブ協議会開催。
- ④97.11.9~10 親睦活動委員会との共催の旅行会で、コンピュータをフル装備している会津大学を見学。
- ⑤97.12.12 地区職業奉仕委員会の依頼により、ボランティア活動についてアンケート実施。
- ⑥98.3.13 「業界団体に関するアンケート」実施、(回答率59%)。

(3)社会奉仕委員会(吉田委員長)

- ①97年11月10日、港区ボランティアセンター10周年記念行事への参加
 - a. 車イスサポート・ボランティア
 - b. 環境保全及び身障者関連映画のチケット購入と鑑賞
 - c. 「記念誌」発行助成金として、10万円寄附
- ②当クラブ10周年記念行事「ボランティア団体活動助成金」の交付先の決定と、贈呈式の実施。
- ③忘年家族会にチャリティー・バザーを実施し、収益金を「風の子会」「みなと工房」「西麻布作業所」に各10万円寄附。
- ④4月10日の例会にて、風の子会武藤紀高所長より「風の子会とボランティア活動」の卓話実施。
- ⑤インターネットより収集した「地域ボランティア情報ファイル」を会員に配布。
- ⑥書き損じハガキ約850枚を収集、日本ユニセフ協会に届けた。

地域社会調査委員会／今年度は「教育」に焦点を当て、社会のニーズを調査することとし、文部省生活学習振興課長・寺脇研氏の卓話を実施。

環境保全委員会／①「ダイオキシンってなあに? (環境庁)」及び「減らそうダイオキシン (東京都)」を会員に配布。②地球環境問題の関心を高めるための継続行事として、笹町小学校に「マンガで見る環境白書」計200冊を寄贈、読後のアンケートをお願いした。

(4)国際奉仕委員会(関委員長)

- ①米山記念奨学会への寄付は、功労者2名、準功労者4名、普通寄付の合計1,129,500円。
- ②9月に日米少年少女水泳大会に協力参加。(寄付は2万5千円。ロータリーの友に記事掲載)
- ③バギオ基金への寄付、5万円。
- ④グアム台風災害見舞金協力。10万円。
- ⑤米山奨学生・李承福さん(韓国籍、東大博士課程、36才)の引き受け、カウセラーは圓谷会員。
- ⑥世界社会奉仕関連でフィリピン国ノーザン・サウスRCの同額補助金プロジェクトに参加申請中。

ロータリー財団委員会／①ポールハリスフェローに5名。②ベネファクターに2名。③ニコニコボックス予備費より、\$1,000をR財団へ寄付。④11月の例会で財団月間に寄付の必要性について説明。⑤国際親善学生・J. ファーガソンさん(米国籍、慶應大大学院、27才)の引き受け、カウセラーは関会員。

青少年交換委員会／①青少年交換学生(派遣)の募集に際し、3月に青山学院高等部に依頼。②交換学生の受入れ、派遣はなかった。

(5)クラブ奉仕委員会(山下委員長)

各委員会とも自主性をもって、しかも積極的に活動を展開していただいたお蔭で大きな成果をみる事ができました。

会員増強委員会／本年度実施した重点施策は、①隣接した森ビル内の企業から候補者を発掘すること。②元R財団学生の勧誘。③他クラブのロータリアンの子息を勧誘。④退会している元会員の勧誘。⑤スポンサークラブへの協力要請。以上5つであるが、その結果、本年度の増強は7名、退会者4名、差し引き純増3名となった。

職業分類委員会／①職業分類表を2度に亘り整備した。

②職業分類に「人材紹介」を新規オープンした。

会員選考委員会／年度が始まってすぐ5名の候補推薦があり、面接をした。今年5月に更に2名面接し選考した。

雑誌委員会／①毎月第1例会に「ロータリーの友」誌から適宜選別抽出した記事の紹介。②「ロータリーの友」と「ガバナー月信」への関心度調査を行い、'89年3月に行ったアンケート調査の結果とを比較し週報で報告した。

広報委員会／次の記事・写真を「ロータリーの友」へ掲載した。①日米少年少女水泳大会②「お台場レインボーブリッジ・ウォーキング車いすサポート・ボランティア」③忘年家族会でのチャリティーバザー

クラブ会報委員会／ヘッドカラーは、エメラルド・グリーンとし、A3版両面刷りを2回第506号から第551号まで合計45回発行した。委員全員が月単位で編集を担当した。

ロータリー情報委員会／①新会員候補者の入会前にロータリーの概略について説明し、入会意思の確認。②例会時に3分間のロータリー情報を提供。③新会員にオリエンテーションを同じメンバーに対し3回行った。

④毎月1回、例会時にクラブ・セミナーを開催。

出席委員会／例会出席率のチェック及びクラブ協議会その他の会合出席者の確認をした。

プログラム委員会／前年度IMのパネル・ディスカッションのテーマを引き続き探究し、又原則毎月1回情報委員会及び各委員会と共同してクラブ・セミナーを開催した。内外からの貴重な卓話によりロータリー活動の理解を含めた。

ソングリーダー委員会／年度活動計画書に盛られたスケジュールに基づき順調に推移した。

(6)親睦活動委員会(高須委員長)

①火曜会／12回開催、年間テーマ「クラブライフを語り合おう」平均出席者数18.3人

②暑気払の会／8月25日(月)、屋形船での暑気払の会、参加者43名

③新会員歓迎会・食べ歩きの会・クラブ打ち上げ会／1月20日(歓迎会)、シティークラブ・オブ・東京、参加者45名、4月22日(食べ歩き)、マノワール・ディノ、参加者25名、6月29日(打ち上げ)、国際文化会館

④親睦旅行会(職業奉仕委員会と共催)／11月9日(日)~10日(月)紅葉の磐梯と歴史の町会津を尋ねて、会津大学の見学、参加者27名

⑤親睦ゴルフ会等／3月4日(千代田分区予選ゴルフ会)霞ヶ関C. C. 会員6名参加
5月20日相模原ゴルフクラブ、参加者19名

⑥忘年家族会／12月12日(金)友納あけみ氏による「ジャンソンの夕べ」を楽しんだ。参加者104名

⑦「ロースター」の新版作成し会員に配布した。

(7)S.A.A(吉岡S.A.A)

①「楽しい例会」を心掛け気品と風紀を守り、例会がその使命を発揮で出来る様準備、案内を実行した。毎例会5人体制で「受付」「入口」「会場」「例会運営」と役割分担を徹底。幹事と連絡を取って例会の「はじまり」と「終わり」の時間の徹底。

②デザートはフルーツにし、低カロリーのメニューにする様ホテルと打ち合わせた。また、和食を初めて試みた。

③例会のパネルを全部取換え、受付裏に新しくロッカー(書庫)を購入して例会の資料、小物等、の管理の徹底。

④S.A.Aの中で、若干例会出席の時間の遅れ又、担当変更の連絡ミスがあったことを反省している。

新年度各委員会活動計画は、7月に「活動計画書」が発行されるので割愛させていただきます。(クラブ会報委員会)

◎次週予告

回「退任のご挨拶」

6月26日第565回例会

会長 武下 朗 君

副会長 山下 忠治 君

幹事 渡部 一元 君

東京新南ロータリークラブ

会長：武下 朗 副会長：山下忠治 幹事：渡部一元

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

<会報委員>

新保 國彦、荒木 昭文、廣瀬 哲久、
青野 信次、宮川 弘信、開発 英基、
田中 武、小杉 眞史、川鍋 二郎、
立林 英昭、吉田 用親、村山 公士

(編集担当順)